

## 行政視察報告

令和6年度の行政視察について報告します。令和6年度は所管事務調査のテーマに関連する事業を行っている自治体を中心に視察を行いました。

### 総務委員会 令和6年10月29日から30日

#### ●千葉県野田市（公契約条例について）

千葉県野田市は、総務委員会の所管事務調査のテーマである公契約条例を全国初、10年以上前に先導的に制定した自治体です。条例制定の目的やこれまでの成果・課題、地元業者育成の捉え方、物価高騰や人手不足等の急激な変化に対する対応をどのようにしているのかなど、委員からの多種多様な質問にも丁寧にご回答いただきました。

#### ●石川県金沢市（協働のまちづくりチャレンジ事業について）

NPO等の市民団体や町会等の市民団体、学生団体等から創意工夫にあふれるまちづくり企画を提案していただき、市民と行政が協働してまちづくりに取り組む事業である「協働のまちづくりチャレンジ事業」について視察しました。事業の開始に至るまでの経緯や事業化された例等、スライドにより詳しくご説明いただきました。



#### ●委員長コメント

野田市は最も早い段階から献身的な公契約条例への取り組みを実施されており、国に向けた取り組み等には大変感銘を受けました。

金沢市の復興の最中と思えない程の逞しさ、街一丸と成った協働のまちづくりチャレンジ事業における一体感には、感謝と敬意を表する次第です。金沢市の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

このたび視察させていただいた素晴らしい事業については、立川でも今後の良き参考事項として活かして参りたいと考えています。

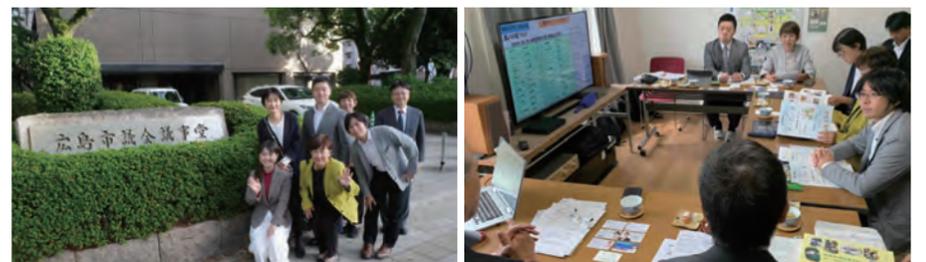
### 厚生産業委員会 令和6年10月30日から31日

#### ●広島県広島市（地域主体の乗合タクシー等導入・運行について）

広島市は、公共交通サービスが十分に行き届いていない地域において、乗合タクシー等の生活交通を導入しようとする地域主体の取り組みに対し支援することによって、生活交通の確保を図っています。行政ではなく地域が主体となって進めることにポイントがある取り組みで、その支援の意義やスキーム、事例についてご説明いただきました。

#### ●広島県広島市（協同労働プラットフォームについて）

「協同労働」は、住民が自らできる範囲で出資し、対等な立場でアイデアを出し合って地域課題の解決を目指す仕事に取り組むしくみで、地域共生社会の実現に寄与するものです。協同労働プラットフォーム事業は、その協同労働の事業の立ち上げから運営まで、コーディネーターが寄り添って支援をする事業で、具体的な取り組みの実例をご説明いただきました。



#### ●委員長コメント

広島市で視察した乗合タクシーと協同労働は、いずれも地域住民の主体的な取り組みが欠かせない事業です。

市職員や協同労働に携わる方々からは、「単に行政サービスを受けるのではなく、行政と連携しながら自らの地域を守り育てていく」という強い決意が伝わってきました。

事業内容は非常に参考になるものでしたが、同時に地域の支え合いの意識を育むことの重要性も実感。「支え合いのまち」としてのあるべき姿を垣間見たようで、大きな感銘を受けました。

### 環境建設委員会 令和6年11月5日から7日

#### ●京都府宮津市

##### （宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例について）

条例の制定に至るまでの経緯をご説明いただいた後、プラスチックを減らすための市の取り組みについてなど、委員からの質問にご回答いただきました。

#### ●兵庫県芦屋市（市民マナー条例について）

環境建設委員会の所管事務調査のテーマである環境美化・マナーアップに関連して視察をしました。兵庫県芦屋市では市民マナー条例を制定しており、歩きタバコなどの計9項目を禁止しています。条例を改正した際の周知方法や罰則に至るまでの経過等、詳しくご説明いただきました。

#### ●大阪府豊中市（豊中市地区まちづくり条例について）

市民が主体となってまちづくりを進める地区まちづくり条例について、施行に至るまでの経過や団体登録者数、現状の主な活動等をご説明いただきました。



#### ●委員長コメント

宮津市では「宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例」について視察。行政、市民、事業者、観光旅行者で協力して取り組めることを目的の一つにしたと聞き大変学びになりました。

芦屋市では「市民マナー条例」を視察。広い歩道の所々にベンチが設置され、街路樹も街に合った雰囲気や清潔感がある街。多くの個店が点在し、街の美観を損なわせない想いが湧き起こる街だと感じました。

豊中市では、「地区まちづくり条例」を視察。「市民が自ら考える理想の街づくり」は大変興味深かったです。

### 文教委員会 令和6年10月29日から31日

#### ●大阪府枚方市（インクルーシブ教育について）

文教委員会の所管事務調査のテーマである地域に根ざした学校施設のあり方に関連して、インクルーシブに関する考え方や支援の内容についてご説明いただきました。

#### ●大阪府守口市（さくら小学校について）

「学校全体が学びの場となること」「地域における学び・交流の拠点となること」をコンセプトとして建設された小学校を視察しました。所管事務調査に関連して、学校施設のあり方を考える上で大変勉強になりました。

#### ●兵庫県姫路市（小中一貫教育について）

「学力の向上」「人間関係力の育成」を目標の中心に据えた小中一貫教育についてご説明いただき、小中一貫教育ならではのメリットなどを学びました。



#### ●委員長コメント

所管事務調査のテーマである「地域に根ざした学校施設のあり方」を考えるため、内容の異なる3市で調査を行いました。

枚方市では、多様な学びの場の提供について、具体的な考え方や取組を学び参考となりました。

守口市立さくら小学校は施設の複合化のほか、教室だけではなく多様な学びのスペースが工夫されており興味深かったです。

姫路市では、小中一貫教育を計画的・長期的に進めており、入念な準備が必要であると感じました。